

コープこうべ 商品検査センター

コープこうべの検査活動は1967年にスタート

当時、食品添加物や残留農薬の安全性が問題となっており、「安心して食べたい」「安全な食品がほしい」という組合員の切実な声にこたえて、全国の生協で初の検査室が開設されました。以来、組合員の視点に立った、検査活動を続けてきました。コープこうべで取り扱う商品について、残留農薬、微生物などの検査を通じて科学の目で品質や安全を支えています。



新しく
取り扱う
商品の検査

新規
取り扱い
検査

広報誌
「Hakaru (はかる)」や
ホームページなどで
わかりやすい情報提供



商品検査センターの
3つの役割

モニタリング
検査

コープ商品、
フードプラン商品、
店舗加工品などの検査

お申し出
調査

購入後商品の
組合員からの
お申し出対応

情報発信



コープこうべ商品検査センター

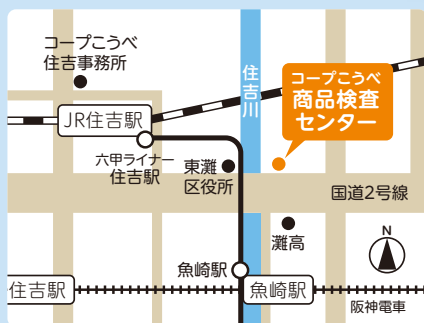
〒658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-20
(コープこうべ生活文化センター西館3階)
※JR住吉駅から徒歩約10分

ホームページアドレス

<https://kensa.coop-kobe.net>

コープこうべ商品検査センター

検索



商品検査センターのあゆみ

1967年 住吉旧本館内に
検査室(20㎡)開設

1969年 食品添加物
検査を開始

1970年 残留農薬検査
を開始

1975年 店舗の作業環境調査を開始

1976年 お申し出調査開始



開設当時の検査室
(住吉旧本館内)

1983年 東灘区岡本に移転し
規模を拡大(974㎡)

1988年 広報誌「くろまと」
(現「Hakaru (はかる)」)創刊

1995年 阪神・淡路大震災
で半壊



1983年
東灘区岡本に移転

2004年 東灘区田中町
(コープこうべ
生活文化センター
西館)に移転
(945㎡)

2011年 東日本大震災発生
放射性物質検査を再開

2013年 お申し出品の
異臭検査・異物検査を開始



2004年
残留農薬検査用
LC/MS/MS導入

開設50周年

2017年 10月1日を「商品検査の日」登録・認定
はかるたいせつプロジェクト」開始

はかるたいせつ プロジェクト

商品検査センターは、開設以来、さまざまな物質を「はかる」取り組みを行ってきました。商品だけではなく、カラダのことを「はかる」こと、そして、量で考えることで、いきいきとした毎日を送れるよう、健康づくりに取り組んでいます。

はかるたいせつ

検索



フロアガイド

残留農薬検査

作物ごとに適切に農薬が使用されているか、国の残留農薬基準に適合しているかを検査で確認しています。



重金属検査

米に含有する重金属(カドミウム)が、国の規格基準に適合しているかを検査で確認しています。



異臭検査

お申し出品の異臭物質(薬品臭、カビ臭、石油臭など)の検査を行っています。



正しい手洗い手順の体験実習

手洗いコーナーでは、見学者を対象に「手洗いチェッカー」や「ルミテスター」を使用して正しい手洗い手順の体験実習を行っています。



放射性物質検査

ゲルマニウム半導体検出器を使用して食品中の放射性物質の自主検査を行っています。検査結果を商品検査センターホームページで公開しています。



微生物検査

品質劣化や腐敗の原因となる細菌や食中毒の原因となる菌の検査を行っています。また、刺身など店舗加工商品の検査を行い、衛生管理レベルの向上に役立っています。



異物検査

組合員からの商品お申し出に対応し、異物のマイクロスコープによる拡大観察や、機器による材質検査・元素分析を行うとともに取引先に調査依頼をして混入原因を究明します。



その他の検査

- 食品添加物
- 動物用医薬品
- 品質管理項目
(ヒスタミン、油脂の
酸価・過酸化価)
- アレルゲン

